

意見募集結果とその回答(南山城村第4次総合計画)

No.	提出意見(要約)	村の考え方
1	アンケートの結果・報告が主で、方向性をつけるために組み替えたものが今回の内容で、企画に創造的なアイデアがあるわけではなく、村民が平穩に生活できる環境を提供しようというだけのものがわかりました。	企画に創造的アイデアがないとのご指摘は重く受け止めなければならないと思っておりますが、今回の計画は今後10年間の方向性を示すものであり、その先の村のあるべき姿や夢を追い求めることよりも、この10年間に何をなすべきか、何が実現可能なのかということを中心に置いて構想を取りまとめました。
2	総合計画第3次との関係、第5次との関連性、そして第4次計画が持つ意義などの表明が明記されていないので、思いつき計画程度の内容なのか、現実無視・時代錯誤とも感じられ、加えて絞り込みがないので、八方美人的であるため何をやりたいのかが明確にわからない。何を企画して後世に残したいとしているのか分からない。第1次～第3次の計画も第4次総合計画と同じ視点で推進されてきたのか。	南山城村第4次総合計画の策定にあたっては、地方自治法が改正され計画策定の義務付け条項が削除されたことや過去3回の検証結果などを踏まえ、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されていた第1～3次計画とは異なり、概ね10年間の地域づくりの方向性を示す「基本構想」のみを取りまとめることとしました。また、専門的知識を有するコンサル等に外部発注して取りまとめていたこれまでのやり方を改め、村役場の将来を担う「魅力ある村づくりプロジェクトチーム」の職員を中心に「総合計画策定協議会」を設置してまとめることとしました。行政の継続という意味からも第3次総合計画を土台にして現状を分析し、今後10年間の村が進むべき方向性を示すことを第一として、多くの議論を重ねて取りまとめたものです。
3	都市計画の道路で第4次総合計画ではどのように改善、改良を約束しているのかがわからない。村内の地形はかなり複雑で、特に163号線を中心とする村の道路は曲がりくねっている。狭い、それに一本しかない。歩道は全くないに等しい。街路樹の並ぶ歩道はなし。第4次総合計画はこれらについてどう対応しようとしているのか。バイパスが出来つつあるが、それと都市計画との関連、特に基幹道路をどう構想しているのか。住宅地を整備していかなくてはいけない方向性から、上下水道の村管理とどう関連していくのか。	今回の構想の中で、村が自立していくための施策として「第4章 魅力ある村づくりプロジェクト」を最重点施策として掲げ、今後10年間これを達成するために全力を挙げたいと考えています。都市計画の視点からの構想が示されていないとのご指摘については、村は生活がしやすく便利になる都市化に重きを置くことよりも豊かな自然や文化或いは絆などを守りながら、住民の皆さんが住んで良かったと思っただけの魅力ある村にしていきたいと考えており、少なくとも今後10年の間は、基幹道路や住宅地の整備などの大規模基盤整備事業は考えておりません。しかし、そのような中であっても村を守っていくためにやらなければならない投資的事業として「道の駅」を掲げ、今後の村づくりの核として、また、村活性化の手段として実現することとしており、道の駅が完成すれば、それが村の商業集積地になり、住民の憩いの場ともなるものと考えています。

意見募集結果とその回答(南山城村第4次総合計画)

4	<p>危機管理上の対策、最悪の事態のひとつは連動する地震体の地震が二つ又は三つ同時に起きたとき、M7～8クラスで最低でも20分間以上は揺れると言われていました。村にもハザードマップがあり緊急避難時の待機場所も決まっていますが、それは初動振動が1回で、あと余震が続いていく想定のもので、活断層の縦層方向によって、ある所は25分、ある所は10分にはなるでしょうか。私の観測ではニュータウンを含めて、そんな丈夫な建物として作っていないので、村全体でも60%以上はダメージがあるだろうと考えます。こうした事態はないにはこしたことはないが、対策としては考えざるを得ないとしたら、第4次総合計画はこれにどう対応して企画されているのか、どこを探しても書いていない。自然環境保護、野生動物保護の点で第4次はどう企画されているのか。</p>	<p>大地震対策についてご指摘いただいておりますが、水害なども含めた防災対策は喫緊の課題だと考えています。自然環境保護、野生動物保護についても、村は開発や都市化を推進するのではなく、村の豊かな自然を守っていく方向ですので、従来どおり規制をかけていくこととしております。何れも、本計画の中では項目としては示しておりますが、具体的施策の実施については、今後の村の最重要課題の一つとして位置付け、緊急性を加味しながら順次予算を獲得して事業を進めていくこととしております。</p>
5	<p>計画の「道の駅」の構想の中に、村運営の直販所として収益を意図しているのか。その意図は村の企画の段階ではないように見える。現段階でこれまでの計画を検証してみると、どれも収益なしとなっている状態ではないか。財源がないのではなく、収益への知恵を絞り出さなかったことが原因ではないか。</p>	<p>道の駅のご意見について、道の駅の成否は「住民参画」がカギを握っていると考えています。村は、住民の皆さんに自立をしていただくための材料を提供しようとしています。ここに住民の皆さんの英知と情熱が結集できれば、農業が振興し、雇用が創出され、利益が生まれ、村が元気を取り戻すものと思っております。</p>
6	<p>合併を真剣に考慮して実現させていくことは、これからの情勢に対応するよいタイミングになるのではないか。今後、合併をどのように進めていくのか。</p>	<p>市町村合併については、村は現時点ではこのことについて積極的に動くことは考えておりません。将来木津川市への吸収合併が想定されるひとつの案ではありますが、振り返りますと、木津川市が誕生した時にその意思に反して取り残されたのが南山城村であり笠置町であり和東町です。その取り残された相楽東部3町村が選択したのが相楽東部広域連合の設立でした。現在、教育委員会、塵芥処理を中心に事務を行っていますが、これを更に充実させていくことが重要だと考えています。市町村合併は相手のあることでもあり、また、合併の先にバラ色の世界が待っているものでもなく、国の施策もそれを強力に推進した時期は過ぎ去ったことなどから、今、市町村合併を真剣に考慮しなければならない時であるとは考えておりません。</p>